

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北陸)	良くなる やや良くなる	百貨店（売場主任）	・8月末発売予定のプレミアム付商品券の効果に期待したい。
		百貨店（営業担当）	・7～8月にかけて、県内では大型ショッピングセンターや初のアウトレットモールといった、かなり大きな商業施設が開業する。消費自体は夏物衣料を中心に活性化すると思うが、それが続くかどうかはわからない。最初は新しい物に動くのではないかというのが見通しである。
		百貨店（営業担当）	・北陸新幹線が開業してから初めてのセールであり、去年より入店が増え、売上が伸びるのではないかと予想する。
		スーパー（店長）	・夏のボーナス支給や、現在プレミアム付商品券が発売されていることから、その分での買物需要が増えるものと期待している。
		スーパー（統括）	・現在の単価の動きは、この3か月間同じように上がり基調で推移しており変わってこない。その中で、夏の賞与がそれほど悪くないと一般的に言われている状況の中で、客の購買も増えるのではないかと考えている。
		家電量販店（店長）	・4Kクラスのテレビが旧型を含めて実績が上がっている。冷蔵庫、洗濯機も単価の高い物が売れており、季節商材の動きは前年に対してまだ鈍いが、それを補う実績を作れている。
		乗用車販売店（従業員）	・来月の全社合同イベントで、集客、売上の効果を期待している。
		乗用車販売店（役員）	・上半期は商品鮮度があまり良くないので我慢の時期だが、下半期にはモデルチェンジやマイナーチェンジの商品が予定されており期待している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・夏のボーナス及びプレミアム付商品券などの効果に期待が持てる。
		高級レストラン（スタッフ）	・秋口に向けてJAの大型販促もあり、まだまだ良い勢いは続くと思われる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊の予約状況や学会、大会などの予約が堅調に推移している。
		都市型ホテル（役員）	・宿泊部門の好調さは今後も見込まれる。また大会やコンベンションが昨年より若干増加傾向にあり、全館ではやや良くなると見込む。
		タクシー運転手	・6月の後半から、少し客の動きが上がってきたような気がする。
		通信会社（役員）	・現状の獲得増、解約減の動きは当面継続すると考えており、契約の純増数は今後拡大する見込みである。
		通信会社（営業担当）	・ここ最近はランニングコストが少し増えてもタブレットを利用したいという客が増えてきているので、最適な提案をすれば販売数も伸びてくるのではないかと思われる。
		テーマパーク（職員）	・引き続き、北陸新幹線の開業効果が持続するものと思われる。東日本エリアからの客が大きく増加すると予想される。また、為替の円安もありインバウンドも増加傾向にあり、全体としてはやや良い方向に推移するものと思われる。
		競輪場（職員）	・お盆期間中に、自場にてビッグレース開催が控えているため、売上の向上に期待している
		美容室（経営者）	・福井では20%のプレミアム付商品券があつという間に売り切れ、その効果が徐々に出てくる。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税の10%への増税までは客数も契約金額も徐々に増えるように思える。前回の増税ほどの盛り上がりはないと思うが、客は確実に増えており、これからまだ増える感じがする。
		変わらない	
商店街（代表者）	・物価は上がっているようだが、肝心の給料が上がる雰囲気は全くない。この夏のボーナスもどうなるか心配である。		
一般小売店〔精肉〕（店長）	・北陸新幹線効果があるものの、材料費の高騰、複数の競合店の乱立により、景気はこの先どうなるか不明なところが多い。		
スーパー（総務担当）	・来客数が伸びないため前年並みの売上が続くと思われる。		
スーパー（総務担当）	・7月にも値上げが控えており、物価の上昇に賃金の上昇が追い付いていない影響がいずれ出ると思われるが、当面は北陸新幹線効果の良い影響が継続されることから、現状通りの推移と想定する。		

コンビニ（経営者）	・商品の 카테고리ごとでは、ドーナツやコーヒーなどは好調に推移しているが、それだけの単品買いという客も多く、どうしても単価が上昇しない。たばこなども値上げから1年以上経過し、前年並みの売上に回復しなければならないのだが、売上は相変わらず前年を割っている状態であり、たばこ離れも進んでいるように感じられる。
コンビニ（経営者）	・イベント依存の立地であり、ウィークエンドの天候次第では数字の上下が多少あると思うが、それ以外は良くなる要素も悪くなる要素も見当たらないというのが現状である。
衣料品専門店（経営者）	・都市と地方、大企業と中小零細企業の格差は広がりを見せており、大手でも改革、リストラが続いているということで、我々中小企業も予断を許さない。
衣料品専門店（経営者）	・さる地方銀行の、トップに近い人の話であるが、消費レベルでのお金の動きが非常に弱い。ぜいたくをするような環境には、少しもなっていない。税金を中心にした収入減、物価を中心にした支出増加で、生活感が全く停滞していると言っていた。私もその通りだと思う。良いと言われている都会の元気を、少し地方にも回してほしいと思っている。
乗用車販売店（経営者）	・ボーナス時期に入っているが、客が車購入に対して慎重な状況はしばらく変わらないと思う。
自動車備品販売店（従業員）	・期待する明るい材料もなく、極力低価格で抑えようとする客も多く、集客面が回復する兆しも見えない状況で、更に単価も低下傾向である。しかし、低価格帯の中古車の動きは良くなってきており、総合的には変わらないと判断している。
住関連専門店（店員）	・消費税増税の影響があった昨年と比較すると回復傾向にはあるが、例年から比較すると落ち込みは大きく、来客数の動き、接客での引き合いの度合いなどを比較しても今後伸びる要素は見当たらない。また、円安の影響がしばらくは継続し、食品などの値上がりが家計に大きなダメージを与えていることも事実であり、嗜好品までは家計が回らない。
その他専門店〔酒〕（経営者）	・景気が悪いことに慣れてしまったというか、そういう体質になってしまっているから、そこから脱却するには、まだまだかかっていると思う。本当に少しずつでも良くなっていけばよいと感じている。
その他小売〔ショッピングセンター〕	・北陸もようやく梅雨入りした。日中気温は前年並みに上がってきたが、朝晩が肌寒い。例年並みの気温回復とバーゲン企画で夏衣料、涼感寝具、飲料需要に期待したい。昨年ヒットした人気ゲーム、アニメ関連商品の需要がない分、大苦戦しそうだ。
一般レストラン（店長）	・金沢あたりの人の動きが、なかなか地方まで伝わらない。客単価が上がってきているようには感じるが、これが継続するかは疑問である。
観光型旅館（経営者）	・夏休み期間中は、家族旅行を中心に予約状況は例年並みに推移している。また、9月の大型連休の日並びが良く、順調に予約は増えている。
観光型旅館（スタッフ）	・6月以降も予約状況は好調であり、6～7月は130～160%、8月以降は200%を超えている。
旅行代理店（所長）	・北陸新幹線効果が一巡するまで受注は前年を超えて推移しそうだ。
タクシー運転手	・このまま、好調に人出はあると思う。売上も比例して増加すると思う。
通信会社（職員）	・比較的景気変動を受けにくい業種であるということもあるが、競合他社の攻勢も予想されたほどの影響がないことも要因である。
通信会社（営業担当）	・来客数が前年比で変動がない。新商品が発売され動きがあるように見えたが、即販につながらず検討に時間をかける客も多い。今のところ変化を感じられない。
通信会社（店舗統括）	・落ち込んでいるわけではないが、上がる気配もない。
通信会社（役員）	・新サービスのエリア拡大が終了し、今後はエリア開局の特需がなくなるため獲得契約数が大きく伸びることは考えにくく、現在と変わらず推移するものと予想する。
住宅販売会社（従業員）	・受注額は回復しているものの、収支面からみた場合には資材高騰などの要因もあり、コストアップを吸収できるほどの受注額に達するか先が見えない。
住宅販売会社（従業員）	・業界を取り巻く環境は恵まれており、客の反応も良いが、企業間の競争は激しくなっている。
住宅販売会社（従業員）	・住宅エコポイントなどで多少の動きは期待できるが、景気が良くなると言えるほどにはならないと思う。

	やや悪くなる	商店街（代表者）	・7月開店のアウトレットモール、大型ショッピングセンター、会員制大型量販店、また既存の大型ショッピングセンターやデパートの夏場のバーゲンセールに対して、相当な脅威を感じている店舗が多くある。他に、北陸新幹線などの交通網が良くなったことで他県で買物する人や、時代の変化でネットでの買物客も増加傾向にあり、当商店街の各店舗ではこの先相当な影響を受けるものと考えている。なお、7月から実施されるプレミアム付商品券には、少しだけ期待する店舗があるが、当商店街の多くの店舗の意見として、商品券のほとんどは大型店で使われるだろうと考えている。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・商品の価格改定や配送コストのアップにより利益が圧迫され、販売価格に転嫁せざるを得ない状況になり、販売額の減少につながるおそれがあると思う。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・紙製品など値上がりが予定されており、現状より良くなると考えられない。
		コンビニ（店長）	・ボーナスなどの報道を聞いていると景気上向きと報じられているが、コンビニ業界はまだまだ景気回復とはほど遠いのが現状である。景気の悪かった前年と比べて、7～8月も業績が前年割れするとしたら悪化していると言わざるを得ない。5～6月は前年割れだったが、そこまで大きく割れていなかったことで、世間の評判の景気回復が本当であることを信じて期待をしているのだが、現状をふまえシビアに考えた場合、やや悪くなると思う。前年の水準をクリアするとは思えない。
		コンビニ（店舗管理）	・プレミアム付商品券は一時的なものであり、他に好材料が見当たらない。
		家電量販店（店長）	・省エネ、高付加価値商品の販売で単価は上がるが、必要にならないと買い換えないため販売数量は伸びない。
		一般レストラン（統括）	・来客数、売上高はまだ伸びると見込む。しかし人手不足が深刻で既存従業員の負担が大きい。現状は残業代、既存従業員が辞めない環境づくり、人材募集などの人に関わる経費の増加が著しく、このままでは運営継続と適正利益確保が難しくなると予測している。
		その他レジャー施設（職員）	・夏の特別教室の申込受付を例年より早く開始したが、反応がとても鈍く予定集客数に全く追いついてこない。昨年並みの数字が取れるかが不安になってきている。
	悪くなる	スナック（経営者）	・国際的な要因で株など経済的な変化が大きい現在では、先々は悲観的要素が大きいことから、悪くなると思う。
企業 動向 関連  (北陸)	良くなる	-	-
	やや良くなる	化学工業（総務担当）	・今後、受注量が増加の予定である。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・2015年夏季賞与は全般的に増加しており、株価の上昇も好影響となると思われる。
		建設業（経営者）	・7月からはいくらなんでも公共工事が発注され始めるであろうから、今月が悪すぎたのでその分ややよくなったと感じるだろう。
		通信業（営業担当）	・光回線などの販売はコラボの関係もあり停滞している。情報機器の伸びが顕著である。
		税理士（所長）	・当地の場合はこれから夏になり、北陸新幹線の効果で黒部や立山に来る人が、前年より増えるのではないかという見通しがある。今後は夏のボーナス、特に民間企業のボーナスの時期だが、いろいろな社長の話によると中堅の業績が良い会社は多く出すという予定を何件か聞いている。消費の方でも、底が固いことの裏付けになるのではないだろうか。
変わらない		食料品製造業（役員）	・原料価格は高止まりの様相が見えてきており、悪い状況で推移すると考えられる。ただ、今後の新商品の提案ではこうして諸条件を含んで利益を出せる商材を増やしていく。生産部門では、更なる効率化を進めることを課せられた施策として取り組んでいる。
		繊維工業（経営者）	・期待感はあるものの、回復は下期になるものと思われる。
		繊維工業（経営者）	・為替の動きが心配な状況である。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の注文の入り具合をみて、そのように思った。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・引き合いの状況からみても大きく変化はないと思っている。ただし、ギリシャ問題の再燃など懸念材料も残っている。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・国内市場は補助金関連で受注が伸びると思われる。しかし、米国市場の伸び悩みが課題である。
		精密機械器具製造業（経営者）	・二極化しながらも全体的には若干上向いていく感を持っているが、市況が良くなっているというレベルではない。
		輸送業（配車担当）	・しばらくは円安傾向が続く中で、燃料費などのコスト負担が続くと思われる。

	金融業（融資担当）	・北陸新幹線などの明るい話題で多分に実力プラスアルファの景気が金沢エリアにはある。現下の景況感が良いが、いつまでも続くとは限らないと気を引き締める経営者も多数いる。	
	金融業（融資担当）	・アベノミクスの経済効果で株価も2万円台に乗っているが、次の矢が欲しいところである。	
	不動産業（経営者）	・同業者から聞いた状況では、法人客からの問い合わせが少しずつ来ており、これから動きが出てくるであろうことと、個人客からのいろいろな問い合わせがあるという話が聞かれた。	
	新聞販売店〔広告〕 （従業員）	・今回の広告出稿は求人関係が良かったのだが、7月以降は大型商業施設の開業に伴う求人が一巡するため、求人関係の出稿が落ちてくる予想である。また、土地や不動産、建築関係が若干上向いており、今後もその傾向が続くだろう。	
	司法書士	・生コンクリート製造工場の新築といった大きな需要を見込んでいる案件もあるが、通常の土地建物の取引はさほど活発ではない。	
	やや悪くなる	建設業（総務担当）	・地域により工事発注量に先行き不透明感が出ており、徐々に受注価格競争の激化の拡大が予想される。
	悪くなる	-	-
雇用 関連  (北陸)	良くなる	-	-
	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・求人広告の6月分を昨年と比べると件数は減っているが、減った要因はパートやアルバイトの求人で、正社員はむしろ増えている。パート、アルバイトと正社員の比率は昨年が2：1だったが、今年は1：1からむしろ正社員の方が多くなってきている。求人の条件が良くなってきている傍証であろうと思われるので、今後の景気もプラスの変化ととらえた方が自然であろうと考える。
		職業安定所（職員）	・自動車関連をはじめとした製造業での求人が増加している。また、有効求人倍率も27年5月は1.38倍と依然1倍を大きく超えている。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	・有期契約のため、労働者派遣法が改正されるとますます登録者が伸びない。
		人材派遣会社（社員）	・今後、人材確保が厳しくなるので時給単価アップなど待遇改善に努め、より良質な人材確保や育成に取り組み、マッチング率を高めるよう努めていかなければいけないと考えている。
		求人情報誌製作会社 （編集者）	・新しい雇用拡大の話が出てこない。
		職業安定所（職員）	・求人数が求職者数を上回る状況が続いているが、企業における採用条件の緩和や雇用条件の改善があまりみられないことから大きな変化はない。
		職業安定所（職員）	・売上は上がっているが、利益が上がらないという事業所の声も多く、景気が良くなった実感が少ない事業所が多い。
		民間職業紹介機関（経営者）	・大型ショッピング店舗の集客にもよるが、人手不足は続くと思われる。求職者が職種を選ばなければ、雇用は拡大傾向に進むと思われる。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-